

令和2年度 事業報告書

令和3年6月7日
社会福祉法人 愛耕福祉会

令和2年度 社会福祉法人 愛耕福祉会

～経営理念～

社会福祉法人愛耕福祉会は次の5つの経営理念をもって、保育事業の展開を図り、社会福祉に貢献する。

1. 子どもの最善の利益を第一に考える保育園
2. 養護と教育を一体的に行う保育園
3. 保育の質の向上を追求し続ける保育園
4. 保護者や地域に「心から信頼される」保育園
5. 保育の専門性を生かし、子育て支援を行う保育園

このことを根底に据え、下記の行動指針を順守する。

○子どもが保育園での生活に満足し、全ての子どもが心から明日を楽しみ、保護者も子どもも預けたことに満足する保育園の実現を目指す。

○保育の質とは子どもの健やかな育ちを保障する「生活の場」としての保育環境の充実と子育て支援、地域支援のための保育士の専門性の向上を組織をあげて構築して行く。更に保育内容の適切な説明、保育態度、応対、マナーなど保護者の立場に立って考えて行動する。

○保育園運営の社会的責任を自覚し、保護者や地域社会の多様なニーズに応えるべく、待機児童の解消と就労支援に努める。

○保育に携わる者として、日々の研鑽に励み、よりよい保育の知識・技能を高め、常に自己の資質の向上を目指す。

○職員一同がお互いに理解し、協力を深めると共に、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる保育園づくりを進める。

○常に社会人としての自覚を持ち、社会的な良識に従って行動すると共に、地域社会から信頼されることを目指す。

令和2年度 総括

当法人は平成18年11月（15日）に創業（NPO法人 明育会）し、事業開始から今日まで13年4ヶ月が経過しました。平成27年3月（10日）「社会福祉法人」の設立認可を受けた後、平成29年4月「雲南市立大東保育園」を業務受託し、翌年（平成30年）4月には私立認可保育施設「みなみかも保育園」を開園し、現在に至ります。

「みなみかも保育園」は開園2年目（平成31年／令和元年度）に事業単体で採算ベースに乗ったものの、建設資金の借入償還等を一手に担っており、運転資金は潤沢とは言えません。この環境下で安定した収益基盤を持つ「雲南市立かもめ保育園」と「雲南市立大東保育園」が「みなみかも保育園」の資金面を支えてきたことで「3園体制」が一層強固になった一年となりました。

平成29年4月「改正社会福祉法」が完全施行となり、社会福祉法人は「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組」が求められています。加えて、我々のような「措置施設」を経営する法人を取り巻く外部環境は、近年、著しく変化しています。具体的には（1）少子高齢化の進行に伴う人口減少社会における社会保障制度の課題（社会保障財源確保）と（2）地域住民が抱える生活課題の多様化、複雑化（貧困問題、虐待やDV被害の増加）等があります。さらには（3）新型コロナウイルス感染拡大により、国民の生活、雇用等が急激に変化する恐れがあり、「社会福祉法人」として取り組むべき課題が山積しています。

この激変する環境下で、当法人の「運営面」は、毎月開催する「法人管理職会」において、各拠点（園）の情報共有による課題の抽出・改善が進み、組織の一体感がスピード感を持って醸成されました。また各拠点園長が経理面での知識・ノウハウを新たに吸収した効果もあり、収益性の高い堅実経営が実践できました。当法人がこれからも安定的かつ継続的に経営（事業）を行うため、ガバナンスのさらなる強化に努めて参ります。

次に「人事面」においては、令和2年度は新卒職員の採用は無かったものの、雲南市在住のキャリア2年目の保育士1名と、「雲南市暮らし推進課」と連携して採用した移住者（保育士1名）を新たに迎えることができました（令和3年4月1日付け採用）。令和2年度は自己都合による退職者（保育士2名／看護師1名）もありましたが、人手不足が深刻な保育（福祉）業界にありながら、当法人は比較的順調に職員体制を維持（確保）しており、保育現場に混乱をきたすことなく経営することができました。しかしながら近年、「人材の確保・定着」は社会福祉法人にとって大きな課題の一つであり、いわゆる団塊ジュニア世代が後期高齢者となる「2040年問題（生産年齢人口の急減）」への対応が強く求められています。このような「少子高齢・人口減社会」と、雇用・労働をめぐる環境や制度の変化を踏まえ、職員が「元気に働きながら成長できる職場」、求職者にとって「魅力ある職場」づくりが急務になりました。

当法人はこうした外部環境の変化に対応する施策として『健康経営』を積極的に展開しています。『健康経営』とは職員の健康管理を経営課題として捉え、戦略的に取り組む手法のことをいいます。これはこれまで別々のものとして独立していた「経営管理」と「健康管理」を統合し、個人の健康増進を法人の業績向上に繋げるという考え方です。当法人は「健康」を重要な経営資源として捉え、健康づくりの推進を「コスト」ではなく「将来への投資」として前向きに捉えています。そしてこれからも職員が働きやすい職場づくりをスピード感をもって具体的に実践し、地域一番の「ワークライフバランス推進企業」として企業価値を高めて参ります。

以 上

令和2年度 法人本部 事業報告

1. 理事会

○＜第1回 令和2年6月5日（金）10時30分～11時45分＞

報告及び議事

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第1号議案 定時評議員会に提案する次期役員候補者の選任について

第2号議案 令和元年度事業報告について

第3号議案 令和元年度決算報告について

監事監査報告

第4号議案 定時評議員会の招集について

第5号議案 「就業規則」の一部改正について

第6号議案 「テレワーク勤務規程（案）」の制定について

第7号議案 みなみかも保育園「苦情解決実施要項」の制定について

第8号議案 「新型コロナウイルスに伴う特別休暇規程」の制定について（追認）

○＜第2回 令和2年12月25日（金）10時00分～11時00分＞

報告及び議事

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第2号報告 理事長の専決事項について

第3号報告 「しまね女性の活躍応援企業」の登録について

第4号報告 「しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）」の認定について

第5号報告 「女性活躍のための働きやすい環境整備支援事業費補助金」の交付決定について

第6号報告 令和2年度雲南圏域健康づくり活動表彰事業「圏域会長賞」の認定について

第1号議案 令和2年度資金収支第1次補正予算について

○＜第3回 令和3年3月29日（月）10時00分～11時00分＞

報告及び議事

第1号報告 令和3年4月1日付け人事異動について

第2号報告 「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」認定について

第3号報告 「令和2年度プレミアムこっころカンパニー」受賞について

第4号報告 「第4回しまね働く女性きらめき大賞」受賞について

第1号議案 令和2年度資金収支第2次補正予算について

第2号議案 令和3年度事業計画について

第3号議案 令和3年度資金収支予算について

第4号議案 評議員選任・解任委員の選任について

第5号議案 「業務受託保育園並びにみなみかも保育園運営規定」の一部改正について

2. 評議員会

○＜第1回 令和2年6月22日（月）10時30分～11時15分＞

報告及び議事

第1号議案 令和元年度事業報告について

第2号議案 令和元年度決算報告について

監事監査報告

第3号議案 次期役員の選任について

3. 内部監査会

○＜令和2年5月25日（月）13時30分～14時30分＞

議事

令和元年度決算内部監査

4. 監事監査会

○＜令和2年5月29日（金）13時00分～16時30分＞

議事

令和元年度決算監事監査

5. その他

○＜運営連絡協議会（法人管理職会）＞

参加者 本部長・園長

開催数 13回

○＜衛生委員会＞

参加者 産業医（雲南市立病院・大谷病院事業管理者）本部長・衛生管理者・看護師

開催数 12回

○＜環境衛生検査＞

内 容 学校保健安全法に基づく環境検査測定（照度・水質・ホルムアルデヒド・放射線測定）／上代 茂 評議員様ご協力

時 期 かもめ保育園（8／28） 大東保育園（8／29他）／みなみかも保育園（8／25他）

○＜新入社員ビジネスマナー研修＞

日 時 令和2年4月21日

場 所 法人本部 会議室（オンライン）

講 師 有限会社 Will さんいん（金築 理恵社長）

参加者 保育士4名／保育補助1名 計5名受講

○＜オンライン保育者研修会＞

日 時 令和2年5月8日

場 所 みなみかも保育園 遊戯室（オンライン）

講 師 トレンタ 代表 小川 優氏

参加者 保育士23名受講

○＜人事評価制度評価者研修＞

日 時 令和2年9月5日

場 所 かもめ保育園／大東保育園／みなみかも保育園／法人本部（オンライン）

講 師 株式会社エイデル研究所（大塚 孝喜社長）

参加者 各園園長及び主任 計7名受講

○＜令和2年度職員（事務職）採用試験＞

日 時 令和2年5月23日

場 所 雲南市大東地域交流センター

○＜令和2年度職員（保育士）採用試験＞

日 時 令和2年11月28日

場 所 雲南市大東地域交流センター

○＜令和2年度職員（保育士）採用試験＞

日 時 令和2年12月20日

場 所 法人本部事務所（オンライン）

○＜令和2年度正職員転換試験＞

日 時 令和3年2月7日

場 所 雲南市大東地域交流センター

○＜登録／認定／受賞＞

名 称 「しまね女性の活躍応援企業」

登録日 令和2年9月1日

名 称 「しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）」

認定日 令和2年9月7日

名 称 「令和2年度雲南圏域健康づくり活動表彰事業『圏域会長賞』」

受賞日 令和2年12月1日

名 称 「令和2年度プレミアムこっころカンパニー」

認定日 令和3年1月26日

名 称 「第4回しまね働く女性きらめき大賞（片寄 絢子栄養士／みなみかも保育園）」

受賞日 令和3年1月26日

名 称 「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」

認定日 令和2年3月4日

○＜補助金活用事業＞

事業名 「令和２年度 女性のための働きやすい環境整備支援事業」

通知日 令和２年１０月２６日

交付額 ５８４,０００円

内 容 キャリアコンサルタントによる「キャリアコンサルティング面談」(全職員対象)

期 間 令和２年１１月２日～令和３年３月２６日

実 績 ８２名実施（８６名中）

以 上

令和2年度 雲南市立かもめ保育園 事業報告

1. 保育の理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

子ども一人ひとりの育ちを支え、保護者・地域と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。

【保育目標】

心身ともに健康で、主体性のある子どもを育む

【めざす子ども像】

- ・なんでも食べる丈夫な子
- ・自分のよさに気づき、自信をもつ子ども
- ・自分の思いや考えを表わす子ども
- ・人、もの、ことに意欲的にかかわる子ども

【保育方針】

○丈夫な体作りと基本的生活習慣の獲得

子ども達がこれからの生活を健康に過ごしていくために家庭と連携して、「しっかり食べる」「ぐっすり眠る」「いっぱい遊ぶ」というリズムを整え、丈夫な体をつくっていく。また、より良い生活に必要な基本的生活習慣が身につくよう低年齢からの継続した取り組みを行っていく。

○豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達を捉えた保育課程をもとに、一人一人に即した支援や、それぞれの学年の育ちに即した保育をする。安心感を基盤に豊かな心情や思考力の芽生えを培い、主体性のある子どもの育成を目指す。

○信頼される保育園

地域のひと・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかわりや多様な体験を通して故郷を愛し、しなやかに生き抜く力をもった子どもの育成を目指す。また地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

2. 園児数

(1) 定員数 90名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和2年4月1日	3	16	18	15	18	19	89
令和3年3月31日	14	16	18	15	18	19	100

3. 職員体制

職員25名（産休・育休3名）

- ・園長
- ・主任保育士
- ・保育士17名
- ・看護師1名
- ・栄養士2名
- ・調理師2名
- ・事務員1名
- ・嘱託医1名
- ・嘱託歯科医1名

4. 健康支援と安全

◎健康支援と衛生管理

- ・感染予防のための衛生管理の徹底を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、検温や手指消毒、共有する物や場の消毒を徹底した。また、衛生用品や備品等を購入し対策に努めた。

- ・保健指導・・・3～5歳児対象に感染症等の病気、けが、衛生面など「看護師さんの話」の日を設け、健康な生活を意識できるように話をした。
- ・欠席状況、感染症発生状況の確認や保護者に情報提供及び健康相談を行った。
- ・個々の成長及び健康管理を行い、成長曲線を作成し担任や保護者と共通理解を図った。
- ・基本的生活習慣の確立のため、かもめっこ元気モリモリ大作戦を町内の小・中学校と合わせて年3回（6月、11月、2月）実施した。
- ・嘱託医による健診（内科・・・9月、3月　歯科・・・11月）を実施した。

◎安全管理

- ・事故発生時の対応、防災対策、安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し、危機的状況が発生した場合にはそれに従って素早く体制がとれるようにした。
- ・園舎内外の安全点検、危険個所の改善など安全対策に努めた。また、災害時想定避難訓練を実施した。11月の避難訓練では消防署より来園、指導していただいた。
火災（4月・5月・8月・10月・12月・2月・3月）
風水害（6月）　地震（9月・11月）　原子力防災訓練（10月）
不審者対応訓練（7月・1月）
交通安全教室（3・4・5歳児対象）を実施した。
5月・・・職員による交通安全の話や道路の渡り方や歩き方を実際に行なった。
9月・・・交通安全の紙芝居を見た。
安全点検（毎月）の実施。修繕箇所は速やかに対応した。
ヒヤリハットによる安全対策の重視（随時）と共通理解を図った。

◎食育の推進

- ・地産地消を積極的に取り入れ、旬の食材を使った米飯を中心とした食事で、子どもたちが「心身ともに健やかに成長し、おいしく食べられる安心、安全な手づくり給食」を提供した。
- ・アレルギーのある子どもに対しては、保護者と連携して一人一人の状態に合わせた除去食の提供をしていった。また、栄養士と看護師、保育士が連携し、離乳食の進め方を保護者と相談しながら適切に対応した。
- ・園生活の中で「食」への興味関心をもち、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。
食育のつどい・・・3～5歳児を対象に（毎月）実施した。
栽培物のクッキングを実施し（職員が調理するのを見る）、食への興味関心を促した。
5歳児対象に食生活改善推進協議会　大東支部の皆さんに来ていただき、食についての話を聴いた。
食文化の継承（笹巻作り・焼き芋、餅つき）を実施した。
郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）取り入れた。
食育部会を開き、調理と保育の立場から子どもたちの「食」について検討を深めた。
給食だよりや食育だより（毎月）、ホームページや壁新聞等で保護者への食育指導やレシビなど発信した。

5. 子育て支援（別紙参照）

◎園開放

- ・地域の子育て支援として、毎週金曜日を園開放デーとし、希望者には給食を提供した。
離乳食の進み具合を確かめるためや人や場に慣れるため、入園する前に利用する方が多かった。その機会に子育て相談や食育相談等を受けた。

◎一時預かり

- ・市内の保育園に在籍していない乳幼児を、月12日以内の利用で育児支援を行った。
新型コロナウイルスの影響があったのか、5月～7月までは利用がなかった。その後利用

者が増えた。里帰り出産で利用される方には、2週間の待機をしてもらい利用してもらった。

◎延長保育

- ・仕事等により時間内に迎えに来られない場合、園で預かった。
- ・申請者総数 25名

6. 保護者との連携

- ・日々、送迎時や連絡ノートで保護者の思いや悩みを出せるように、笑顔で挨拶したり声をかけたりするよう心がけ、信頼関係を構築できるよう努めた。しかし新型コロナウイルス対策のため玄関対応となり、直接保護者と話す機会が減った。
- ・自由参加型の保育公開日（月1回）を設け、保護者が保育園に来て子どもの様子を見たり一緒に遊んだりできるようにした。希望があれば給食が試食できるようにした。今年度は、新型コロナウイルス対策のため8月から人数制限（10名まで）して実施。
- ・園便り、園長だより、クラスだより、保健だより、食育だより、ホームページ等、各自の専門性を活かした情報発信や方針を伝えるよう努めた。
- ・PTA活動は、新型コロナウイルス対策のため市の方針に従い、内容や方法を考え工夫して実施したり中止にしたりした。

親子遠足と子育て講演会は中止。5歳児は最後ということで園主催の親子遠足を実施。かもめまつりは子どもと職員で行なった。

運動会は全園児ではなく3～5歳児を対象とし規模を縮小して行なった。また、0～2歳児は保育公開日に替えて親子ふれあい遊びとしてクラス毎に実施。

保育士体験は焼き芋の準備から焼き上げるまでを一緒に体験してもらった。

環境整備作業（7/18、9/26、）を実施。

- ・9月と2月に園運営についてのアンケートをとった。その結果を踏まえ保護者との信頼関係を深めていけるよう要望に対する改善努力をする。

7. 職員の資質向上（職員研修参加表参照）

職員の資質向上のため年間研修計画を作成し、研修の実施及び研修の機会を確保した。研修後は復命書での周知、園内研修での共通理解を図った。

◎園外研修

- ・県、市、社協等主催の研修（キャリアアップ等）に参加した。
 - ・県、市の研修や雲南保協保育公開に参加した。
- 今年度は新型コロナウイルス対策のため中止またはweb等での研修になった。また、研修参加人数の制限があり申し込んでも受けられない研修もあった。

◎園内研修

- ・講師を招いて園内研究会（全クラス）を実施した。
- ・人権研修（講師依頼）救急法研修（講師依頼） 絵画研修 エピソード研修 を実施。

8. 他園・小学校との連携

新型コロナウイルス対策のため、今まで行なってきた他園との交流は実施しなかった。

小学生・中学生・高校生との交流も実施しなかった。

◎大東中学校校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育推進

「心豊かでたくましく生きる力を持った子どもの育成」のために連携を図った。

- ・大東中学校のテスト期間に合わせたノーメディアチャレンジに取り組んだ。

園では『かもめっこ元気モリモリ大作戦』週間として減メディアや早寝早起き朝ごはんを目指して取り組んだ。（6/29～7/3、11/17～21、2/11～15）

- ・総会、交流会は中止。
- ・大東中学校区学校運営協議会（地域・家庭・学校、園・市の代表で構成）に参加（7/8、11/11、3/4）。

9. 地域との連携

地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を新型コロナウイルス対策に考慮し、実施したり中止したりした。

- ・飯田寿会女性部さんとの交流（笹巻作り）は中止した。職員と子どもで実施。
- ・飯田寿会さんとの交流を実施。
芋苗植え（5/27）や芋ほり（10/15）
- ・アヨ有機農法塾さんとの餅つき（1/14）。保護者の参加は無し。
- ・グランマさんとの交流は中止。
- ・大東よいとこ祭りは中止。
- ・J A女性部さんのポン菓子作りは中止。
- ・食生活改善推進委員大東支部の方による食のつどい（11/27）を実施。クッキング無し。
- ・加多神社節分祭に4・5歳児参加は無し。
- ・地域の方のご好意で柿採りや田んぼでの遊びを体験させていただいた。（全園児）

10. 保育に関する評価

◎園評価

園の保育目標から具体目標を上げ、今年度の評価項目を明確にした。2月にそれぞれのクラスや担当で評価し、今後の課題を明らかにした。

◎自己評価

キャリアパスの評価項目に基づいて年2回自己評価を実施（1回目9月、2回目2月）。また、自己評価を踏まえ、園長との面談を行い今後の目標等明らかにした。

令和２年度 雲南市立かもめ保育園 園児数の推移 (月末時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	5	16	18	15	18	19	91
5	5	16	18	15	18	19	91
6	5	16	18	15	18	19	91
7	8	16	18	15	18	19	94
8	9	16	18	15	18	19	95
9	9	16	18	15	18	19	95
10	10	16	18	15	18	19	96
11	12	16	18	15	18	19	98
12	13	16	18	15	18	19	99
1	14	16	18	15	18	19	100
2	14	16	18	15	18	19	100
3	14	16	18	15	18	19	100

令和２年度 雲南市立かもめ保育園 利用状況

延長保育			
月	登録者	利用日数	利用延べ人数
4	15	2	2
5	15	2	2
6	16	5	5
7	20	5	7
8	20	2	4
9	20	3	3
10	20	6	7
11	21	5	7
12	21	5	7
1	21	6	7
2	21	13	21
3	25	11	16
合計		65	88

一時保育		
月	利用延べ人数	開所日数
4	4	4
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	1	1
9	10	5
10	14	8
11	16	9
12	9	5
1	11	6
2	14	9
3	24	15
合計	103	62

土曜保育利用状況

月	登録者数	利用延べ人数	平均出席率
4	37	35	24%
5	37	61	33%
6	35	57	41%
7	35	60	43%
8	35	70	40%
9	33	74	56%
10	33	85	52%
11	33	72	55%
12	33	61	46%
1	34	59	43%
2	36	70	48%
3	36	58	53%
合計		762	45%

園開放実施状況

月	利用日数	利用延べ人数
4	0	0
5	0	0
6	0	0
7	4	11
8	0	0
9	1	2
10	2	4
11	3	5
12	2	3
1	0	0
2	2	2
3	3	4
合計	17	31

令和2年度 職員研修参加表 (3月31日現在)

雲南市立かもめ保育園園長

雲南市子ども政策局		市幼・こ・保ブロック研修		雲南保育協議会研修		社会福祉協議会		園内研修会		大東保育園研修会	
『夢』発見プログラムや幼児期運動プログラムについて	2名	Bブロック保育研修 (西こども園)	1名	雲南Iブロック研修	2名	保育士キャリアアップ研修 【マネジメント】	1名	0歳児	8名	0歳児(さくらんぼ組)	1名
『夢』発見プログラムや幼児期運動プログラムについて	2名	Bブロック保育研修 (海潮こども園)	1名	保育公開 (あおぞら保育園)	1名	保育士キャリアアップ研修 【障がい児保育】	2名	0、1歳児	6名	1歳児(りんご組)	2名
「学生と保育者のための運動遊びハンドブック」の活用について	2名	Bブロック保育研修 (掛合保育所)	1名	調理担当者研修会	1名	保育士キャリアアップ研修 【幼児教育】	1名	1歳児	6名	3歳児(みかん組)	1名
各段の保育の中で役立つ運動遊びに係る教材づくりについて	2名	Bブロック保育研修 (寺領幼稚園)	1名			保育士キャリアアップ研修 【食育・アレルギー対応】	1名	2歳児	7名	4歳児(ばなな組)	1名
『保護者との』望ましい関係とメンタルヘルス	2名	Bブロック保育研修 (かもめ保育園)	8名	県保育協議会研修		保育士キャリアアップ研修 【保健衛生・安全対策】	1名	3歳児	6名	5歳児(めろん組)	2名
雲南市特別支援教育研修会	1名	Bブロック保育研修 (斐伊保育所)	1名	主任保育士・主幹保育教諭研修 食育推進研修	1名	人権権利擁護研修	1名	4歳児	7名		
		Aブロック保育研修 (大東保育園)	1名	同上Web研修	4名	新任職員マナー研修	1名	5歳児	7名	みなみかかも保育園研修会	
		Aブロック保育研修 (佐世幼稚園)	1名	アレルギー疾患対応に関するWeb研修	1名	新任保育士・保育教諭研修	1名	絵画研修	17名	0歳児(ちゅーりっぷ組)	1名
				保育者研修会	3名	中堅職員スキルアップ研修Ⅰ	1名	AED研修	25名	2歳児(さくら組)	2名
				主任保育士・主幹保育教諭研修 食育推進研修 YouTube限定配信	8名	中堅職員スキルアップ研修Ⅱ	1名	栄養指導	25名	3歳児(たんぼぼ組)	1名
						指導的職員研修Ⅰ	1名	人権研修	25名	人権研修	1名
				その他の研修		リスクマネジメント研修Ⅰ	1名				
						リスクマネジメント研修Ⅱ	1名				
						キャリアアップ 中堅職員コース	2名				
				新入社員研修	1名	キャリアアップ 初任者コース	2名				
				発達障がいフォーラム 2020	1名	労務管理研修	1名			法人本部研修会	
				歯科保健従事者研修	1名	健康保険給付実務講座	1名			人事評価者研修	2名
				就学前人権教育講座	1名						
				HACCP(ハサップ)の考え方を取り入れた衛生管理のための手引書説明会	1名						

令和2年度 雲南市立かもめ保育園 主な行事

月 日	内 容	月 日	内 容
4 月		11 月	
2日	入園のつどい	5日	歯科検診
3日	第1回PTA評議員会	6日	親子遠足(ぞう組)
24日	PTA総会(中止)	9日	歯磨き指導:磨き残しチェック(きりん・ぞう組)
5 月		12日	焼き芋・保育士体験
13日	親子遠足(中止)	17日	第2回元気モリモリ大作戦(21日まで)
22日	交通安全教室	19日	ぱんだ組個人面談(12月1日まで)
25日	尿検査(こあら・きりん・ぞう組)	20日	第4回PTA評議員会
27日	芋苗植え(飯田寿会さんと交流)	25日	消防署員さんの指導による避難訓練
6 月		25日	食生活改善推進委員さんによる食育のつどい (ぞう組)
9日	笹巻きづくり(前日笹揃え)	12 月	
24日	歯磨き指導	7日	個人面談(こあら・きりん・ぞう組)～10日まで
26日	第2回PTA評議員会	23日	クリスマス会
29日	第1回元気モリモリ大作戦(7月3日まで)	28日	保育納め
7 月		1 月	
18日	第1回環境整備作業	4日	保育始め
8 月		14日	餅つき(アヨ有機農法塾)
4日	はっぴーかもめまつり	22日	デレクさんとの交流(きりん・ぞう組)
13～15日	盆希望保育	2 月	
24日～ 9月4日	個人面談(ぞう・きりん・こあら組)	3日	節分の集い
9 月		11日	第3回元気モリモリ大作戦(15日まで)
11日	第3回PTA評議員会	20日	かもめっこ発表会
17日	内科健診		こあら、きりん組進級説明会
26日	第2回環境整備作業	25日	ぱんだ組保育公開日(進級説明会)
10 月		3 月	
3日	親子運動会	3日	ひな祭り会
14日	ぱんだ組保育公開日		うさぎ組保育公開日(進級説明会)
23日	うさぎ組保育公開日	4日	りす、ひよこ組保育公開日(進級説明会)
29日	りす・ひよこ組保育公開日	5日	PTA監査会
30日	わくわくうんなんピック	11日	入園前説明会・健康診断
毎 月		12日	第5回評議員会
☆誕生会	☆保育公開・給食試食	10日	ぞうぐみさん がんばってね ありがとう会
☆発育測定	☆看護師さんの話	26日	令和2年度修了式
☆弁当日	☆食育のつどい	30日	保育修了・おわかれのつどい
☆避難訓練(火災・地震・不審者他)		31日	年度末希望保育
☆園開放デー(毎週金曜日 7月より実施)			

令和２年度 だいとう病児・病後児保育室 事業報告

１．はじめに

令和２年度は「だいとう病児・病後児保育室（つくし）」事業を雲南市から受託して３年目を終え、前身の「だいとう病後児保育室（つくし）」を平成２１年４月に事業受託したものを合わせると実質１２年目となった。これまでを含め当法人として事業を適正かつ円滑に運営し、安心・安全の保育の実践、子ども一人一人に配慮した保育、併せて対象児の保護者への事業の周知、地域の子育て支援の充実を心がけた。また、「みとや病後児保育室（たんぽぽ）」とは相互に情報交換し、連携をはかりながら利用できない児を極力無くすよう努めた。

しかしながら今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期間におよび、登録申請者も利用する児も激減し、事業開設以来、最も利用者が少ない１年間であった。

２．利用者の実態

１）利用人数…別紙参照

令和２年度は利用者数は１４７名だった（令和元年度２５８名／前年対比５７．０％）。４月は登録申請者が４９名、利用者は１８名というスタートだったが、５月以降は減少傾向となった。前年度と比較すると登録申請者の利用者も約半数にとどまった。

その中で今年度初めて足の骨折の児の利用があり、８月は総利用者数２０名中１２日間、９月は２５人中９日間をその児が利用した。その児は骨折のため足にギプス装着からギプス除去、そして歩行までの長い経過をたどったが、期間中は毎日骨折部の観察をしながら足を拭いたり、包帯の巻きかえをしながら日々を過ごし、不自由な生活の中にも多少の気分転換を図りながら特に大きなトラブルもなく過ごすことができた。しかしながら１０月以降も増加の傾向を示さず利用者「０」の日も再々あった。

新型コロナウイルス感染症に対しては施設として発生防止に徹底して努めた。利用する児も確実な手洗いをするなど子どもなりに消毒・衛生意識が定着しており、通園する保育園でも欠席者が少ないという情報があった。

２）活動実績

- ・新型コロナウイルス感染症の発生・拡大防止のためいろいろな対策を実施した。

マスクの着用（保護者の送り迎え時）、こまめな手洗いの励行、近距離での会話を避ける、室内の消毒、利用児の送り迎えでは極力玄関対応など感染予防対策は厳重におこなった。

- ・登録申請者には医療従事者（病院・介護施設・事務職員）が多く、利用開始時刻が８時、お迎え時刻が１８時の希望に沿うよう配慮した。

- ・今年度も雲南市立病院の小児科外来へ挨拶に行き協力を求めた。雲南市立病院では、施設を利用する際の必要書類である「医師連絡票」が予めパソコンにストックしており、保

護者の求めに応じて作成頂いていたことがわかった。

- ・初めて施設を利用される保護者が途中の状態を知りたいと希望されれば、あらかじめ連絡可能な時刻を把握しておき途中状況報告をした。保護者からは「安心しました」という感謝の言葉があった。

3) 保護者の感想

- ・利用児の保護者は共稼ぎで核家族が多く、利用中は児の状態などを気にしながら仕事に従事しておられる。施設に預けることで仕事に「子どもさんを迎えに来てください」という電話がなく、安心して仕事に専念できた。また初回利用時に施設側から途中で状況報告があった時は安心して仕事に専念できたとあった。

- ・施設の存在は知っていたが、これまでは「預けるまでしなくても…」と思い保育所へ行ったり、勤務調整し休みをとっていた。迎えに行った時、子どもの笑顔があり、利用して良かったと感じた。子どもの安静が保たれことが早期回復につながり、今後も利用したいという感想があった。

- ・足の骨折で数日間連続で利用した際には、骨折場所を観察し清拭や包帯の巻き直しする等、保育所や家庭で十分にできないことをしてもらった。経過途中で整形受診の際、医師より「経過はいいです。このまま続行しましょう」といわれた時は利用して良かったと感じた。

3. 今後の課題

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症という大きな流行性のものが発生し、感染予防には厳重な注意が必要であった。職員も予防衛生は大いに気を配り、かつ子どもたちも感染予防対策が広く徹底しており、「こまめに手洗いをする」基本が身についていた。

- ・保護者から「存在を知っていたが詳しいことはわからなかった」「登録申請をしておけばいつでも利用できることなどあまり関心がなかった」などの意見があった。今後は施設の存在を保護者に広くアピールする機会を多くし、機会ある毎に広報する必要性を感じた。近年の保護者世代は核家族で共稼ぎが多く、児が体調をくずした時は働くことに支障が出るのが予測される。保護者に安心して利用していただくため、なるべく登録をしておくことの必要性を一人でも多くの人に知ってもらい、気軽に利用できる施設を目指したい。

1. 利用者の月別人数及び登録申請者の累計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請者数	49	4	8	4	3	4	1	7	7	6	7	7	107
利用者数	18	2	5	5	20	25	12	1	12	6	13	28	147
不可人数	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
稼働率 (%)	61.9	11.1	13.6	19.0	83.3	70.0	36.4	5.0	50.0	21.0	61.1	74.0	42.30

2. 利用者の月別の病名・病状

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上気道炎	9	0	1	2	5	14	2	0	3	4	7	9	56
気管支炎・肺炎	0	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	6
喘息・喘息性気管支炎	4	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1	0	9
感染性胃腸炎	2	0	0	0	3	2	6	0	5	0	0	10	28
中耳炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
溶連菌感染症	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	3	8
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
その他	2	1	1	1	12	9	1	1	1	6	3	6	9
下痢													3
発熱													3
左足骨折													21
片頭痛													1
計	18	2	5	5	20	25	12	1	12	6	13	28	147

3. 年齢別利用者数

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	合計
14	57	44	15	12	1	4	147

・利用者数は延べ人数である

4. 利用者の年度別推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	196	304	258	147

5. 年度別登録申請者の人数・利用者人数の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
登録者数	63	51	65	50	71	79	79	149	134	162	156	107
利用者数	77	86	132	102	160	210	224	273	196	304	258	147
稼働率 (%)		27.9	39.8	30.3	52.2	60.7	66.3	74.5	60.3	72.3	66.8	42.3
利用不可人数								85	76	18	10	3

病後児保育室開設

三刀屋「たんぽぽ」開設

病児・病後児保育室開設

6. 登録申請者の所属（保育園・小学校等）

かもめ保育園	24	木次こども園	6	ニチイキッズ	1
大東保育園	22	加茂小学校	3	木次小学校	1
四つ葉学園	9	加茂こども園	3	大東小学校	1
あおぞら保育園	7	斐伊小学校	1	西小学校	1
三刀屋保育所	6	斐伊保育所	2	ホタルキッズ	1
みなみかも保育園	9	掛合保育所	1	布勢幼児園	2
たちばら保育園	5	田井保育所	1	斐伊こども園	1

令和2年度 雲南市立大東保育園 事業報告

1. 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心を持ち、たくましく生活していく子どもの育成』

＜めざす子ども像＞

- 明るく元気な子ども
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども
- 自ら考え行動する子ども
- 最後まで根気よく取り組む子ども

【保育方針】

- しなやかで豊かな人間性の育成
0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた保育課程を基に一人一人に即した支援や、直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。
- たくましい身体の育成
地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人ひとりの育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるように努める。
- 信頼される保育園
地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかかわりや多様な体験を通して、故郷を愛し、しなやかに生き抜く力を持った子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

【めざす職員像】

『心の根っこを育む職員』

- 子どもの心情に寄り添い、主体的に生活するための手立てをする。
- 子ども成長を仲間や保護者と喜び合い、一人一人の子どもの明日を語り合う。
- 明るく感性豊かに子どもと向き合い主体的に行動する。
- 色々な機会を捉えて自己研鑽に努め、広い視野と質の高い専門性を備えた自分を創っていく。
- 保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員それぞれが個々の専門性を生かし、協力し、認め合

い、信頼し、人間性を高め合う。

2. 園児数

(1) 定員数 135名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和2年4月1日	5	20	24	24	24	17	114
令和3年3月31日	17	24	24	24	25	16	130

3. 職員体制（3月末）

(1) 大東保育園

職員30名（正職14名）

- ・園長1名 ・主任保育士1名 ・保育士20名（副主任3名、産休・育休1名含む）
- ・看護師1名
- ・栄養士4名 ・保育補助1名 ・事務1名

※嘱託医1名 嘱託歯科医1名

(2) ファミリーサポートセンター本部

アドバイザー1名

4. 健康及び安全

(1) 健康支援

☆看護師の専門性を活かした園児の健康増進や安全に対する取り組みを進めた。

☆健康や流行期の病気等の対応や予防など保護者に啓発をした。

①感染予防のための衛生管理の徹底（随時）

②保健指導・園児…3～5歳児対象に毎月1回「看護師さんの話」

・保護者…保健便りの発行（毎月）

③欠席状況、感染症発生状況の確認（毎日）、保護者に速やかな情報提供及び健康相談（随時）

④個々の成長及び健康管理（毎月）

⑤基本的生活習慣の確立（生活リズム「元気モリモリ大作戦」）

⑥嘱託医による健診（内科…9月・3月 歯科…10月）

(2) 安全管理

☆事故発生時の対応・防災対策・安全管理等に関するマニュアルを全職員が研修周知し、実地訓練等危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるようにした。

☆園内外の安全点検・危険個所の改善・災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努めた。

①災害時想定（火災・自身・台風）の避難訓練の実施（毎月）

②交通安全教室（5月・10月） 不審者対応訓練（8月）

③安全点検（毎月） ヒヤリハットによる安全対策の重視（随時）

(3) 食育の推進

☆食育計画に基づき、地産地消を主とした安心安全な食材を活かした献立の工夫と食事の提供をした。

☆アレルギーのある子どもに対しては、保護者と連携して一人一人の状態に合わせた除去食の提供と、栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応をした。

☆栽培活動やクッキング、「食育のつどい」等を通して食への関心を高めた。

①「食育のつどい」…3, 4, 5歳児対象（毎月）

②給食便り・食育便り（各毎月）

③給食試食会（今年度はコロナウイルス感染症対策として、1日10名までを上限とし、8月～10月末までの期間保育公開と合わせてPTAより給食を提供した。）

④離乳食・アレルギー食について保護者面談・食育相談・離乳食の写真公開（随時）

⑤食文化の継承（笹巻作り・焼き芋・餅つき等・・・今年度は園児と職員のみで実施）

5. 子育て支援

(1) 子育て支援

☆園だより（毎月）・園長だより（随時）・クラスだより（月1回程度）・保護者だより（随時）・保健だより（毎月）・食育だより（毎月）献立表（毎月）等、各自の専門性を活かした情報の発信に努めた。

☆地域の子育て支援として、今年度はコロナ対応があり、4月からの開放はできなかったが、7月から毎水曜日、園開放をし、希望者には給食を提供した。また、その機会に子育て相談・食育相談等を受けた。

(2) 雲南市ファミリーサポートセンター（本部）

☆子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての援助を行う人（援助会員）とが会員登録し、育児の相互援助を行うことにより、安心して働いたり、子育てしたりしやすい環境を作ることを心がけた。

☆木次町・加茂町・大東町の会員募集・登録の手続き、依頼会員と援助会員とのコーディネート、三町の連携・調整、会員同士の親睦・研修等、円滑な運営をする。

①ファミサポ三町（大東・木次・加茂）連絡会、ファミサポだよりの発行（9月・1月・3月）、研修会（9月）、交流会（10月）

②保育所等の登園までの預かり。降園後の預かり。

③保育所等から自宅までの送迎。学校の放課後、児童クラブ終了後の預かり。

④自宅～さくら教室等の支援機関～保育所等への送迎。

⑤子どもの軽度の病気等臨時的・突発的な預かり。

⑥乳幼児健診、学校行事等の兄弟の預かり。

⑦冠婚葬祭のための預かり。

⑧仕事と育児の両立のために必要な援助。

⑨保護者のリフレッシュのための援助。等

(3) 一時預かり

☆市内の保育園に在籍していない乳幼児を、月12日以内の利用で預かり、育児支援を行った。

(4) 延長保育

☆仕事等により保育時間内に保育園に迎えに来られない場合、必要に応じて保育園で預った。(18:30～19:00)

6. 保護者との連携

☆日常の中で(園児の送迎等)保護者に出会う機会を大切にし、笑顔で挨拶したり、話しかけたり、子どもの様子を伝えたりして親しみやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係が構築できるように努めた。また、クラスだよりの外にも壁新聞や作品の玄関掲示、動画配信等、子どもの生活が見えるよう情報発信に努めた。

☆人数制限をした予約参加型の保育公開日を設け、保護者が保育園に来て、子どもの遊ぶ様子や担任との触れ合いの機会を増やした。

☆PTA行事等、今年度はコロナウイルス感染症対策を軸としてPTA役員に相談し、一緒に対策を考えて保護者に伝えるようにした。

☆アンケートを取り、その結果と共に、園に対する要望等はできること、できないこと等説明を公表した。

7. 職員の資質向上

☆職員の資質向上のため、研修計画に基づく研修の実施及び研修の機会を確保した。(今年度は主に、リモート研修に積極的に参加した。)参加した各種研修受講内容は、復命書及び職員会(毎月)や報告会の時間を設けて報告し、全職員の共通理解を図った。

☆日々の自分の保育、生活態度、仕事に対する意欲・態度等、キャリアパス制度を活用し、ふりかえり自己研鑽の機会とした。

(1) 園外研修

①厚生労働省・県・市・社協等主催の様々な研修(障がい児教育・指導者研修・マネジメント・スキルアップ・コロナ対策・食育等)にリモートで積極的に参加した。

(県、雲南保協等の保育公開や研究討議は中止となったが、法人内の園で保育公開や研究討議に参加し、研修を深めた。)

(2) 園内研修

①愛耕福祉会主催の講師を招いての研修

②講師を招いての園内研究会(年7回)

③研究部研修、人権研修、絵画研修、メンタルケア研修等

8. 他園・小学校等との連携

☆今年度は地域の人や園以外の同世代の交流や異世代交流を深めることが難しかったが、散歩に出かけたり七夕行列をした際、挨拶をしたり声をかけていただいたりする機会を大切にしていた。

(1) 他園との交流

☆今年度はコロナウイルス感染症対策の観点から、すべて中止とした。

(2) 小学校との連携

☆現段階では、海潮小学校区の園児と小学校との交流の案内がきているのみである。

(3) 中学生との交流

☆今年度は中止となった。

(4) 高校生との交流

☆今年度は、大東高校生と直接の触れ合いはなかったが、フェイスシールドを寄贈していただき、園児や保護者に紹介した。また、1 月には消毒液ボトルの手作りカバーを寄贈していただく予定になっている。

(5) 大東中学校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育の推進

「15歳の春」の旅立ちをめざし、大東中学校区の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校が「心豊かでたくましく生きる力を持った子どもの育成」のために具体的な連携を進めていった。

①大東中学校のテスト期間中に合わせたノーメディアチャレンジ（3回）

②大東中学校区運営協議会（3回）

＊地域代表の方・PTA 会長・園長・校長等で構成されている。

9. 地域との連携

地域に根付いている伝統文化の継承、地域の皆さんとの交流や支援を得て、今年度は出来得る活動を推進した。

☆大東七夕保存会さんより、大東七夕祭りの由来を聞き、スイカ提灯作りの指導を受けた。また、地域の方や保護者の協力を得て、5歳児が神輿やスイカ提灯、七夕飾りを持って町内を歩いた。

10. 保育に関する評価

(1) 園評価

①園の取り組みや評価項目を明確にし、職員の自己評価と保護者のアンケート結果から評価を行った。

(2) 自己評価

①キャリアパスの評価項目に基づいて年2回自己評価を実施した。また、自己評価を踏まえ園長による面談を行い、頑張ったことや今後への目標等明らかにした。

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4	5	21	24	24	24	17	115
5	6	21	24	24	24	17	116
6	8	21	24	24	24	17	118
7	11	22	24	24	24	17	122
8	11	23	24	24	24	16	122
9	11	23	24	24	24	16	122
10	12	23	24	24	24	16	123
11	13	23	24	24	24	16	124
12	14	23	24	24	24	16	125
1	15	24	24	24	25	16	128
2	15	24	24	24	25	16	128
3	17	24	24	24	25	16	130

延長保育利用状況（ ）は前年度

月	登録者	利用延べ人数
4	11 (14)	8 (18)
5	11 (14)	12 (15)
6	16 (16)	13 (15)
7	18 (16)	8 (10)
8	18 (17)	5 (11)
9	20 (20)	27 (14)
10	20 (21)	18 (21)
11	21 (23)	15 (17)
12	21 (25)	23 (12)
1	22 (20)	9 (12)
2	24 (20)	8 (20)
3	27 (20)	20 (14)
合計	229 (226)	166 (179)

一時預かり保育利用状況（ ）は前年度

月	利用日数	利用延べ人数
4	0 (6)	0 (6)
5	0 (8)	0 (8)
6	0 (7)	0 (7)
7	0 (5)	0 (5)
8	0 (9)	0 (9)
9	0 (8)	0 (8)
10	0 (3)	0 (3)
11	0 (0)	0 (0)
12	5 (0)	5 (0)
1	8 (0)	8 (0)
2	7 (0)	7 (0)
3	6 (0)	6 (0)
合計	26 (46)	26 (46)

土曜保育利用状況（ ）は前年度

月	利用延べ人数
4	56 (90)
5	61 (61)
6	72 (117)
7	79 (74)
8	69 (113)
9	73 (105)
10	103 (61)
11	84 (88)
12	98 (63)
1	91 (62)
2	85 (82)
3	65 (55)
合計	936 (971)

令和2年度 職員研修参加表 (3月31日現在)

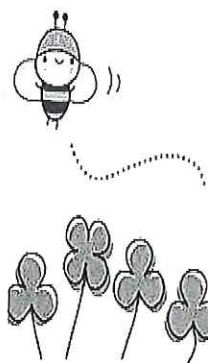
雲南市立大東保育園

雲南子ども政策局		市幼・こ・保Aブロック研修		雲南保育協議会		島根県・厚生労働省		社会福祉協議会		園内研修	
夢発見プログラム 研修1	3名	Aブロック研修 (佐世幼稚園)	2名	保健を語る会研修	1名	県教就学前人権教育講座	1名	保育士キャリアアップ研修【マネジメント】	1名	1歳児りんご組	8名
夢発見プログラム 研修2	2名	Aブロック研修 (木次こども園)	1名	公開保育 (あおぞら保育園)	1名	県保協食育推進研修 (web)	4名	保育士キャリアアップ研修【幼児教育】	1名	4歳児ばなな組	9名
運動遊び研修	2名	Aブロック研修 (三刀屋こども園)	1名	雲南Iブロック研修	2名	厚生労働省初任所 長研修(web)	1名	保育士キャリアアップ研修【障がい児保育】	1名	5歳児めろん組	8名
保護者との望ましい関係とメンタルヘルズ研修	2名			調理担当者研修	1名	県歯科保健従事者研修 (web)	1名	保育士キャリアアップ研修【保育実践】	1名	3歳児みかん組	8名
保育の課題を考える1	1名					県社会保険協会 社会保険給付実務講座	1名	新任保育士研修	1名	2歳児ぶどう組	10名
						県子ども健康 フォーラム	2名	保育士キャリアアップ研修【食育・アレルギー対応】	1名	0歳児さくらんぼ組	9名
						厚生労働省中堅主任 研修(web)	1名	健康子どもフォーラム	2名	0, 1歳児いちご組	9名
						県教特別支援研修	1名	保育士キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】	1名	絵画研修	18名
						県女性活躍推進課 イクボスセミナー	1名	労務管理研修	1名	人権研修	26名
						厚生労働省自己評価ガイドライン改訂版研修	1名			研究研修	3名
その他											
Willさんいん新入社員研修春季	1名	かもめ保5歳児園内研	2名	かもめ保0歳児園内研	1名	みなみかも保育園虐待対応研修	1名	雲南雇用対策協議会 新入社員合同研修会	1名	健康経営会議研修(web)	1名
Willさんいん新入社員研修秋季	1名	かもめ保1歳児園内研	2名	みなみかも保2歳児園内研	1名	コロナ対策セミナー(web)	2名	ルクミー 保育の在り方研修(web)	1名	コロナ感染症研修(web)	1名
保護者対応研修(かもめ保育園)	1名	かもめ保4歳児園内研	1名	みなみかも保1歳児園内研	2名	評価者研修	1名	ルクミー マネジメント研修(web)	1名	児童福祉施設給食関係者研修(web)	4名
身近な人でもネットワーク研修会	1名	かもめ保0, 1歳児園内研	1名	みなみかも保4歳児園内研	1名	ファミサポおせっかい会議研修	1名	ファミサポおせっかい会議研修	1名	コロナ禍保育従事者の心の健康セミナー(web)	1名
ククラス経営力研修(みなみかも保育園)	1名	かもめ保3歳児園内研	1名	みなみかも保0歳児園内研	2名	ファミサポ事故予防研修			2名		
ククラス経営力研修(かもめ保育園)	2名	かもめ保2歳児園内研	2名	みなみかも保3歳児園内研	2名	おうちえんスキルアップ研修(web)			1名		



和2年度 雲南市立大東保育園 主な行事

月	日	行 事		日	行 事
4	2	入園のつどい	12	10	個人面談（～18日） みかん組
	3	第1回 P T A 評議員会		22	クリスマス会
5	25	尿検査	28	28	保育納め
	28	交通安全教室		4	保育始め
6	11	笹巻き作り ぶどう組～めろん組	1	13	餅つき大会
	22	第2回 P T A 評議員会		15	クラス懇談会（ぶどう組）
	24	元気モリモリ大作戦（～28日） みかん～めろん組		2	3 豆まきのつどい
7	4	P T A 環境整備作業	2	13	生活発表会（みかん組～めろん組）
	22	こども祭り		22	元気モリモリ大作戦（～26日） ぶどう～めろん組
	27	個人面談（～31日） めろん・みかん組		3	4 内科健診 入園説明会
8	3	保育公開、給食試食（～10月30日）	3	19	令和3年度 P T A 評議員会
	3	個人面談（～7日） ばなな組		25	令和2年度修了式
	4	七夕保存会さんとの交流 めろん組		30	令和2年度保育終了日
	6	七夕行列 めろん組		31	希望保育
	13～15	盆希望保育			誕生会
9	11	第3回 P T A 評議員会	毎月の行事		避難訓練
	18	親子遠足（大東公園体育館） めろん、ばなな組			発育測定
		親子遠足（大東文化センター） みかん組			食育のつどい
	24	内科健診			看護師さんのはなし
10	3	P T A 環境整備作業			弁当の日
	10	親子運動会 みかん～めろん組	その他		一時預かり保育
	14	歯科健診 みかん～めろん組			延長保育
	21	芋ほり ぶどう～めろん組			開放デー（毎週水曜日）
	22	歯科健診 さくらんぼ組～ぶどう組	令和2年2月より新型コロナウイルスの世界的大流行により、予定していた行事の多くが縮小や中止となった。地域のイベント参加や他園・学校との交流、プール、B&G、バス遠足等中止となる中、園の職員が中心となり、笹巻き作りや夏祭り、芋ほり、歩き遠足等、感染症対策をとりながら必要な経験ができるよう工夫した。		
	26	交通安全教室			
	27	親子運動会 さくらんぼ組～ぶどう組			
	28	原子力防災訓練			
	30	クラス懇談会（りんご・いちご組）			
11	2	わくわくうんなんピック みかん組			
	5	焼き芋大会			
	10	わくわくうんなんピック ばなな・めろん組			
	18	元気モリモリ大作戦（～22日） みかん～めろん組			
	27	園内図画審査会			
	30	消防署指導、放水体験、乗車体験			
	30	個人面談（～12/10） ばなな・めろん組			



令和2年度 雲南市ファミリーサポートセンター（大東本部）事業報告

1. 会員数（令和2年4月～令和3年3月末・・退会者処理後の人数）

	大東	木次	加茂	合計	前年度比
援助会員	25	23	18	66	+8
両方会員	12	12	6	30	+2
依頼会員	55	137	42	234	+20
合計	92	172	66	330	+30
前年度比	+14	+8	+8	+30	

※掛合支部とは連携を取っていないため、掛合支部の会員数は本部では把握していない。

2. 援助依頼内容と件数（令和2年4月～令和3年3月末）

	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
送迎	小学校から自宅への送り	82	0	0	82
	自宅から保育園又は、保育園から自宅への送り	0	3	4	7
	療育施設への送り	47	0	0	47
	スポ少への送り	0	0	135	135
	習い事への送り	0	0	18	18
	合計	129	3	157	289
預かり	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	就労のための預かり	0	10	8	18
	母親の通院、健診のための預かり	0	14	1	15
	母親の体調不良のための預かり	0	9	0	9
	リフレッシュ・休養のための預かり	0	13	5	18
	きょうだいの予防接種や受診のための預かり	0	5	1	6
	きょうだいの園や学校行事参加のための預かり	0	14	1	15
	会議や家事など、用事のための預かり	0	10	1	11
	就職活動や研修のための預かり	0	2	0	2
送迎と預かり（就労のため）		0	4	0	4
合計		0	81	17	98
総合計（依頼件数）		387 件			

3. 実利用人数（月ごとの新たな利用会員数を記）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大東	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	6
木次	3	1	1	0	1	5	2	2	2	1	5	4	27
加茂	2	0	2	0	1	2	0	0	3	1	1	0	12
合計	6	2	3	0	2	8	2	2	4	1	8	5	45

4. 地区別の利用率と援助を提供する会員の実働率

	依頼会員数	実利用人数	利用率	援助・両方会員数	実働会員数	実働率
大東	55	6	11%	37	6	16%
木次	137	27	20%	35	10	29%
加茂	42	12	29%	24	6	25%
合計	234	45	19%	96	22	23%

5. 預かりの場所別利用件数

	平日	土	日・祝	総合計
木次子育て支援センター	54	15		81
木次援助会員の自宅	6	0	6	
加茂子育て支援センター	15			17
加茂援助会員の自宅	1	0	1	

6. 援助活動（送迎・預かり）の実態

- ・送迎、預かり共に、可能な限り依頼会員の自宅から近い会員をマッチングするようにしているが、見つからない場合には地区にこだわらず本部と支部で連携を取り、都合のつく会員を紹介するようにした。

《送迎》

- ・送迎における新型コロナウイルス感染症の影響は、5月にスポ少の送迎がなくなったことのみであった。療育機関への送迎は、利用子どもが2名卒園したことで減になった。
- ・昨年まではなかった小学校から自宅までの子どもの送迎依頼が入った。一件目の依頼は、依頼日が固定ではなく日数も多いことから、4人の援助会員でのサポートとした。依頼日をメールで連絡してもらい、援助計画を作成して事前打ち合わせを行い、各会員や小学校にもサポート計画を郵送し、トラブルがないように配慮をした。急な変更や雪の日の対応に大変喜んでいただいた。
2件目の小学生の送迎では、事前打ち合わせに子どもが同席できなかったため、送迎日の待合場所でアドバイザーが子どもに援助会員を紹介する配慮をした。3件目の依頼は、家族の入院で忙しく、援助会員との事前打ち合わせもできなかったため、送迎日の待ち合わせ場所でアドバイザーが子どもに援助会員を紹介する配慮をした。
- ・ケースに合わせてできる配慮をしたことで、依頼会員からも援助会員からも安心だと喜ばれた。今後も依頼の多様化が予想されるので、要望にできる限り応え、ファミリーサポートセンター事業をより信頼していただけるよう努力をしていきたい。送迎の場合、一件の依頼に複数の援助会員がサポートをする。援助会員がそれを望まれる。複数になる場合は、援助計画と送迎サポート計画を作成し、必ず全ての関係者に郵送することでトラブルが起きないようにしている。

《預かり》

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、5月は子育て支援センターが閉鎖となったことや、前半には預かりをやむを得ない場合のみ受ける制限をしたこと、又、学校行事・保育園等の行事がなくなり、その際のきょうだいの預かり依頼がなかったことで依頼数はかなり減った。後半からは、依頼が増え出したが、昨年に比べると預かりの活動は半数近くの減となった。
- ・数名の援助会員さんが土曜日、日曜日、祝日に自宅での預かりを受けてくださり、昨年よりも依頼が増えている。また、回数は少ないが、保育所等に迎えに行ってからからの預かりの依頼もあり、預かり依頼も多様化の兆しが見られる。預かりに関しては、各支部のサブリーダーの協力・配慮が大きな力となっている。

7. 令和2年度 講習会・交流会

○ 緊急救命講習会

日時：令和2年9月26日（土）9：00～10：00

場所：大東保育園 ひまわりルーム

内容：心肺蘇生法、AEDの使用法、気道異物の除去法

講師：雲南消防署 救急隊（赤名氏）

参加人数：6名（+スタッフ）

お楽しみ癒しの会

内容：お灸体験

講師：佐世の葉温灸院 吾郷氏

○ 交流会

日時：令和2年10月31日（土）9：50～11：30

場所：尺の内公園

講師：ホシザキ野生生物研究所 三浦氏

参加人数：大人12名 子ども13名（+スタッフ4名）

○ 事故予防講習会

日時：令和2年11月28日（土）9：30～10：30

場所：斐伊交流センター 多目的ホール

内容：どんな事故が起こっているか、どうすれば防げるのかについての話

誤飲チェッカー、視野体験メガネ、ボタン電池実験などを通して具体的なポイントを知る

事故予防パネルを使って、予防策などを考える

講師：福代氏（小児事故予防サポーター）

参加人数：6名（+スタッフ）

※ スタッフは、新型コロナウイルス感染防止に十分配慮をし、参加者の方にも注意喚起をして行った。

※ コロナウイルス感染状況を見ながら講習会の開催を検討した。緊急救命講習会は延期をして行ったが、全て中止することなく行うことができた。

8. 令和2年度の取組み

○主任児童委員さんの会に出席をし、ファミサポの事業説明と周知のお願い

- ・三刀屋地区へのファミサポ周知は、三刀屋の子育て支援センターとの連携がとれていないことから難しさがあると感じている。センターとの連携がとれるようにできる努力をしていくことと、主任児童委員さんの協力を得ながらファミサポ周知をしていくことができないか検討していきたい。木次子育て支援センターの利用を通して三刀屋地区でも依頼会員としての入会があるので、実動援助会員を見つけていく努力が必要と思われる。

○三刀屋放課後児童クラブの時間外をファミサポで対応

- ・三刀屋放課後児童クラブでは延長がなく、18：00～の対応をファミサポですることになった。児童クラブの利用者が依頼会員になり、職員が援助会員になって依頼を受ける。依頼会員4名と援助会員4名の入会があった。
- ・学校が長期休みの際、児童クラブが開く朝8：00までの間の預かり依頼があるかもしれないとのことだった。依頼があった場合は、クラブの職員（援助会員）対応はできないとのことであるため、援助のできる会員を探す必要がある。

○移動サービス専用自動車保険加入の検討

- ・現在、一日の中で、自動車死亡事故が最も多く発生している時間帯は、17時～19時となっている。(警察庁調査 H27年～R1年)

ファミリーサポートセンターの送迎関連活動が保育施設の時間外や学校の放課後に実施されるケースが多いことから、送迎をする会員さんに十分注意をしていただくようお願いをすることに加え、万が一の際に提供会員と依頼子どもを守る仕組みも必要ではないかと考え、自家用車使用許可制について、又、送迎する会員の自動車保険加入について検討してきた。これまでは、万が一、活動中に自動車事故が発生した場合は、運転者の方が加入している自動車保険を使用せざるを得ない状況だった。提供会員が安心して送迎活動を行うための体制整備はファミリーサポートセンターにとって急務と思われた。

- ・検討の結果、令和3年度から『移動サービス専用自動車保険』に加入することに決定した。加入に伴い、『雲南市ファミリーサポートセンター自家用車使用規定』を作成する必要性が生じた。令和3年4月に自家用車使用規定を制定し送迎活動中の援助会員を対象に説明会を開くこと、自家用車使用許可申請書を提出してもらうこと（提出に併せて自賠責証書・任意保険証書・車検証・免許証の確認をする）、センターから自家用車使用許可書通知書の配布をすることが決まった。
- ・保険会社への手続きがすべて完了するのが7月になる予定。7月1日よりの保険加入となる。
- ・自動車保険加入に当たって、保険会社への毎月の報告が必要となる。大東本部で作成し、市から保険会社に送ってもらうことになる。

○依頼者からのいろいろなニーズに応えることの必要性和細やかな対応

- ・ある保育園から、会員さんが迎えに行かれた際に、子どもの名前と生年月日を言ってもらいたいとの要望があった。子どもの受け渡しに慎重な対応が求められる時代になったことを感じる。対応として必要事項を記入した『援助依頼カード』を作成し、そのカードを提示していただくように配慮をした。今後も迎え先の要望に応じていくこと、援助会員さんの負担をできるだけすくなくすることに努力をしていきたい。

9. 今後の課題

○ファミサポ周知に通信を活用することの検討

- ・会報誌『ありがと通信』を年3回発行しているが、年1回は広報誌を兼ねたものにしていろいろな場所に置いていただき、ファミサポの活動を会員の方だけでなく広く市民の方にも知っていただくことができればよいと考えている。他市のファミリーサポートセンターでは、そのようにしている所が多いので、是非、実現させたい。

○援助会員養成講座やスキルアップ講座開催の検討

- ・他市では、援助会員として活動する前に『援助会員養成講座』を受講してもらったり、子育て支援センターとの共催で『スキルアップ講座』や『学習会』を開催し、会員が受講できるようにしたりしている所が多い。昨年度から事故予防講習会を増やしたが、今後一回でも援助会員のスキルアップを目指して講習会の開催を検討していくこととする。

令和2年度 雲南市ファミリーサポートセンター（大東本部）の取組み

月	取組み内容	備考
4月	○雲南市ファミリーサポートセンター緊急時対応マニュアルの作成（子どもの預かり時、送迎時の事故対応・連絡について） ○ファミリーサポートセンターヒヤリ・ハット報告書の検討作成 ○ファミリーサポートセンター事故報告書の検討作成 ○援助会員の新しい会員証の作成（顔写真と事故発生時の連絡先を記したカードを渡す） ○ファミサポ担当者連絡会（21日）	・マニュアルは、4月の援助活動が始まるまでに各ファミサポ支部に配布した ・新しい会員証は、実動する会員のみネームホルダーに入れて渡し、活動時に持ってもらおう
5月	○入会申込書の検討見直し ○入会登録時添付文書の検討見直し ○備品台帳の作成、本部・支部の備品点検 ○“おせっかい会議”への出席（オンライン会議） ○緊急救命処置のマニュアルをラミネートし、各支部に配布（事故発生時の対応のため） ○ファミサポ担当者連絡会（19日）	・6月から新しい様式を使用 ・古くなった物を廃棄する ・援助会員増に向けての模索 ・緊急救命処置のマニュアルは、サブリーダーと援助会員が見て確認しておく。
6月	○ありがと通信の発行・・・5日 通信の内容： ・スタッフ紹介 ・令和元年度の活動状況報告（具体的な数字を示して） ・コロナ感染拡大防止のための預かりの対応について ・令和2年度講習会・交流会予定について ○事前打ち合わせ内容の様式の検討見直し ○ファミサポコーナーを大東本部（保育園内）に設置（コーナーは毎月、新しい情報提供をし、壁面などの模様替えもした） ○ファミサポ担当者連絡会（16日）	・大東と加茂の合計数が100名を超えたため、切手代金が少し安くなった。 （大東・加茂分73円） 郵送227名 （17,957円） 手渡し74名 ・7月から新しい様式を使用 ・ファミサポ周知が目的 コーナーには、加茂・木次子育て支援センターの情報も掲示（連携のため）
7月	○ファミサポ担当者連絡会（21日） ○奥出雲町よりファミサポ視察の対応準備 ・文書での質問事項への回答作成など	・コロナにより、視察が延期となった
8月	○ファミサポ担当者連絡会（24日） ○ファミサポスタッフ研修（24日） ・事故予防のための簡易KYT研修・・・連絡会後に ・癒しの会、講師との事前打ち合わせと体験・・・研修後に	・簡易KYT研修・・・スタッフが講師となり講習会ができるように。 ・スタッフでお灸体験し、講師手伝いの役割分担

	○奥出雲町よりファミサポ視察の対応（26日） 午後1:30～3:30 ひまわりルームにて ・ファミサポ事務の説明や書類の提供 ・質疑応用 ○緊急救命+AED講習、癒しの会のご案内発送・・・27日	・奥出雲町教育委員会 結婚・子育て応援課より2名 委託先より2名の来園 ・対象を実動援助会員に絞って声かけ、郵送する ・講習会案内・・・12名
9月	○緊急救命+AED講習、癒しの会の開催・・・26日（土） 9:00～11:15 ○交流会ご案内の発送・・・25日（全会員） ○交流会の講師派遣依頼文の発送・・・25日（ホシザキグリーン財団へ） ○ファミサポ担当者連絡会（29日）	・会場・・・大東保育園 緊急救命：消防署より 癒しの会：お灸体験 ・交流会案内・・・306名
10月	○交流会講師とスタッフの下見、事前打ち合わせ（12日） ○交流会の開催（31日） 9:50～11:30 ○ファミサポ担当者連絡会（12日）下見後、市役所にて	・現地にて打ち合わせ ・場所： ふるさと尺の内公園
11月	○ありがと通信の作成、発送（11月12日） ※通信はピーターパンへ印刷の依頼（光沢紙使用） ○事故予防講習会、折り紙講座ご案内文作成・発送（12日） ○事故防止講習会+折り紙講座の開催（28日） ・講師との事前打ち合わせは、電話にて行い、講習内容の資料を送ってもらい検討した ○ファミサポ担当者連絡会（6日） ○会員名簿の整理 ○全国ファミサポ活動実態調査の対応・・・女性労働協会へ提出	・対象：全会員313名 ・通信の内容： 緊急救命+癒しの会と交流会の報告 ・場所：斐伊交流センター
12月	○コロナ補助金申請、購入物の配布 ○ファミサポ担当者連絡会（22日） ○緊急救命講習等受講調査の内容検討・作成	・本部・各支部、実動援助会員へ
1月	○『緊急救命講習等受講調査』の発送（往復ハガキ、22日） ○ありがと通信の作成 ○『会員登録確認調査』の内容の検討・作成 ○ファミサポ担当者連絡会（26日）	・対象：全会員
2月	○主任児童委員さんの会に出席（12日） ・ファミサポの事業説明と協力をお願い（資料作成） ○ありがと通信・会員登録確認調査の発送（24日） ○『緊急救命講習等受講調査』『会員登録確認調査』のまとめ ○令和3年度事業計画案・予算案の検討 ○ファミサポ担当者連絡会（22日）	・対象：全会員 ・対象：全会員307名 ・会員登録確認調査は、返信用のハガキを同封

3 月	○令和 3 年度事業計画案作成・提出 ○令和 2 年度事業報告の作成 ○会員名簿の整理（退会、住所変更、きょうだい追加、活動内容の変更の処理） ○三刀屋放課後児童クラブへのファミサポ事業・入会説明～時間外をファミサポ対応で～（4 日） ○移動サービス専用自動車保険加入の件についての検討 ・雲南市ファミリーサポートセンター自家用車使用規定の検討 ・自家用車使用許可申請書、自家用車使用許可通知書の検討 ・保険加入についての説明会の検討 ○ファミサポ担当者連絡会（ 29 日）	
-----	---	--

令和2年度 みなみかも保育園 事業報告

1. 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

○子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。

○養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心を持ち、たくましく生活していく子どもの育成』

～ 心が動く瞬間を捉えて ～ （職員・子ども）

<めざす子ども像>

○明るく元気な子ども

○友達を大切にし、思いやりのある子ども

○自ら考え行動する子ども

○最後まで根気強く取り組む子ども

【保育方針】

*しなやかで豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた保育課程を基に一人一人に即した支援や直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。

*たくましい身体の育成

地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人一人の育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるように努める。

*信頼される保育園

地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかかわりや多様な体験をして、故郷を愛し、しなやかな心で生き抜く力をもった子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

<めざす職員像>

『動いて 感じて 積み重ねる！！』

○明るい挨拶、明るい対応、明るく動く（明るく元気な職員）

○子どもを第一に考え、主体的に行動する（主体性をもった職員）

○豊かな感性を持ち、子どもの成長を保護者や同僚と喜び合う（素直に表現できる職員）

○進んで研修会に参加し、自己研鑽を積み重ねる（向上心をもった職員）

2. 園児数

(1) 定員数 60名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
令和2年4月 1日	4	11	13	13	15	7	63
令和3年3月3 1日	13	11	13	13	15	7	72

3. 職員体制

職員24名（正規職員9名）

- ・園長
- ・主任保育士
- ・保育士14名
- ・保育補助3名
- ・看護師1名
- ・栄養士2名
- ・調理師 1名
- ・事務員1名
- ・嘱託医1名
- ・嘱託歯科医1名

4. 健康支援と安全

(1) 健康支援

★看護師の専門性を活かした園児及び職員の健康管理や安全、衛生管理を行う。

- ・コロナ禍で、これまで以上に神経を使いながら健康管理、安全衛生指導を行った。職員の検温の管理、体調不良の確認を徹底して行った。
- ・15時には、全室換気を行いながら、ラジオ体操を行った。
- ・休憩時間を利用して土手をウォーキングする職員もいる。

★感染予防・怪我対応のための衛生管理の徹底

- ・園児への保健指導について、コロナ禍のため手洗いを中心に行った。年長児に対しては、後半マスクでの生活を指導した。また、給食時間は机にパーテーションを置き、コロナ対策を行った。
- ・3月に下痢嘔吐が流行したため、保護者に知らせると共に保育室の消毒をより一層強化した。
- ・基本的生活習慣の確立に向け、家庭と連携して以上児の生活見直しに取り組んだ。（加茂町保こ小中と同時期）毎年行うことで、生活習慣について考えるきっかけづくりになっていると思われる。

(2) 安全管理

★事故発生時の対応・防災対策・安全管理等に関するマニュアルを全職員が熟知し、危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるようにする。

★園舎内外の安全点検・危険個所の改善・災害発生時の訓練行い、安全対策に努めた。

- ・災害時想定（不審者対応含む）の避難訓練の実施（12回）
- ・交通安全教室（年2回）
- ・安全点検（12回）で危険または修理が必要と思われた箇所はすぐに修理した。
- ・ヒヤリハット（9件…誤食、アレルギーに関するもの、業者による異物混入など）、事故報告書（5件…肘がぬける、顎を切るなど）により安全対策を見直した。

(3) 食育の推進

★地産地消を積極的に取り入れ、安心安全な食材を使った献立の工夫と食事の提供を行う。
また、保育士と連携しながら、園の畑で収穫した野菜も取り入れ、子どもたちに「食材」

に関心をもたせるようにした。

- ★アレルギーのある子どもに対しては、保護者と連携して一人一人の状態に合わせた除去食の提供と栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応を行った。
- ★園生活の中で「食」への興味関心をもち、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。
 - ・食育のつどい…マナー、食生活習慣など（2～5歳児）年16回
 - ・コロナ対策をしながら栽培物のクッキングはチャンスを見逃さずに行った。
 - ・コロナ対策をしながら食文化の継承を目的とし、よもぎ団子、笹巻き、焼き芋、餅つきなど行った。
 - ・郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）など取り入れた。
 - ・食育部会を開き、調理と保育双方の立場から子どもたちへの「食」について検討し、活かした。
 - ・給食だよりや食育だより、ホームページアップ、玄関掲示により保護者への食について啓発した。
 - ・コロナ禍で保護者が園内に入室不可能になったが、その日の給食、おやつの展示の場を工夫したり、写真で掲示したりして視覚で伝えた。

5. 子育て支援

（1）子育て支援

- ★園長便り（みなみかもっこだより）No.34 まで発行・クラス便りそれぞれNo.17～31 発行・園便り・保健便りNo.7 まで発行・みなみかもっこ元気モリモリ大作戦だより・食育便りNo.20・献立表など、各自の専門性を活かした情報の発信に努めた。
- ★毎日園開放を行う予定だったが、コロナ禍で制限したこともあり、前年度より大幅に減少した。その中で、来園された方には、丁寧に説明し、「開かれた保育園」「信頼できる保育園」をアピールした。また、子育て相談、食育相談などを受けた場合にも丁寧に答えていった。（年間延べ人数 18名）

（2）一時預かり

- ★市内外の保育園に在籍していない乳幼児を、保護者の希望に添いながら利用できるようにして育児支援を行った。コロナ禍で受け入れ可能地域は限られた。（別添資料）
（年間延べ人数 744名・・・前年度より32名の増）

（3）延長保育

- ★仕事等の都合により保育時間以外で需要がある場合は、必要に応じて保育園で子どもを預かった。（朝7：00～7：30、夕18：30～19：30）（別添資料）
（年間延べ人数 67名・・・前年度より大幅減）

6. 保護者と連携

- ★信頼関係の構築…送迎時、連絡帳などを利用し、園での様子を伝えたり、保護者の思いや悩みに共感したりした。また、笑顔で挨拶したり声掛けをしたりするなど心がけた。
- ★開かれた保育園…コロナ禍のため、荷物の受取りや送迎を玄関で対応せざるを得なくなり「開かれた」とは言えない状況だった。
- ★情報発信…園便り、園長便り、クラス便り、保健便り、食育便り、献立表、ホームペー

ジ、玄関の掲示物、クラス前の掲示物など、各自の専門性を活かし、伝え方を工夫しながらの情報発信を行った。

★PTA役員とのつながりを深める…コロナ禍ではあったが、子どもたちのために相談をしつつ、園でできることは行い、協力してもらうことはお願いをして何とか満足できるように工夫していった。

★保護者の意見を聞く…年度末に園運営についてのアンケートをとり、その結果を公表した上で要望や意見に対する改善を行った。

7. 職員の資質向上

★研修計画に基づき、職員の研修の機会の確保を行ったが、コロナ禍で中止またはオンライン研修になった。コロナ禍だからこそ、研修後は自分のものにとどめず復命書及び報告会により、他の職員に伝え共通理解を図り、同じ意識をもって保育に取り組めるようにしていった。

8. 他園・小学校等との連携

★人・もの・こととの出会いを大切にし、園以外の同世代の交流や異世代交流を深め、いろいろな人とのかかわりや多様な経験をする機会を設けたいと考えていたが、コロナ禍でほとんどの交流はできなかった。その中で、加茂小学校から新1年生を対象に「秋のおまつり」に招待してもらったことは、子どもたちにとってとても良い経験となり、入学を心待ちにすることにつながった。

9. 地域との連携

○地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進する。

★柿&芋同好会さんとの交流（芋苗植え、芋ほり、焼き芋、柿とり、干し柿づくり、コスモス祭り）は、コロナ対策を講じながら行うことができ、子どもたちにとっては「地域の方から愛されている」ことを感じたり「ふるさとを愛する心」を育むことにつながったりしたと思う。

★コロナ禍ではあったが、コロナ対策を万全にして笹巻づくりを行い、地域の方との交流を深めることができた。また、昔ながらの笹巻づくりを楽しむことができた。

★コロナ対策をした上で餅つきをしたことで、地域の方に感謝の気持ちをもつことができたと思う。

10. 保育に関する評価

(1) 園評価

★園の取り組みや評価項目を明確にし、職員各自の目標に基づく自己評価と保護者のアンケート結果から評価を行った。それを次年度に活かしたい。

(2) 自己評価

★令和2年度より「目標管理・評価シート」を活用し、年度途中からではあったが、心機一転自己目標に基づいて園長による面談を行った。今後も人材育成という目標を達成できるものとしたい。

以 上

令和2年度 みなみかも保育園 園児数の推移（月末時点）

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	4	11	13	13	15	7	63
5	7	11	13	13	15	7	66
6	7	11	13	13	15	7	66
7	7	11	13	13	15	7	66
8	7	11	13	13	15	7	66
9	9	11	13	13	15	7	68
10	9	11	13	13	15	7	68
11	10	11	13	13	15	7	69
12	11	11	13	13	15	7	70
1	12	11	13	13	15	7	71
2	12	11	13	13	15	7	71
3	12	11	13	13	15	7	71

※3/18 1名入園 3月末には72名

令和2年度 みなみかも保育園 利用状況

一時保育利用状況			
月	1日利用日数	半日利用日数	利用延べ人数
4	27	13	40
5	27	13	40
6	48	39	87
7	49	48	97
8	38	28	66
9	36	36	72
10	26	19	45
11	36	20	56
12	46	18	64
1	37	22	59
2	39	19	58
3	42	18	60
合計	451	293	744

延長保育利用状況						
月	登録者	利用日数	3歳未満児	3歳以上児	短時間保育	利用延べ人数
4	7	5	4	2	3	9
5	9	4	1	5	0	6
6	11	2	3	0	0	3
7	11	5	2	5	2	9
8	13	8	7	3	2	12
9	13	4	0	6	2	8
10	13	1	1	0	0	1
11	13	7	4	5	2	11
12	16	6	4	5	4	13
1	16	3	2	2	3	7
2	16	4	3	0	2	5
3	16	1	2	1	5	8
合計	25	50	33	34	25	92

保育公開参加状況			
月	利用者数	給食試食数	行事
4			
5			
6	1	1	
7	0	0	
8			
9	45	5	(子育て講演会)
10	54	43	(試食会)
11	43	27	(フリー公日開期間)
12	29	19	バースデプロジェクト
1	0	0	
2	68	0	未満児保育公開日
3			
合計	240	95	

開放デー参加状況		
月	利用者数	給食試食数
4		
5		
6	0	0
7	0	0
8		
9	0	0
10	4	2
11	12	2
12	2	1
1	0	0
2	0	0
3		
合計	18	5

土曜保育出席状況	
月	出席園児数
4	23
5	27
6	29
7	35
8	43
9	47
10	54
11	52
12	47
1	53
2	46
3	38
合計	494

[illegible]

令和2年度 みなみかも保育園 年間行事

4月			11月
3日	入園のつどい	2日	ひまわり組親子遠足
	第1回PTA評議員会	5日	わくわくうんなんピック
5月		6日	つばき組親子遠足
14日	元気モリモリ大作戦～19日まで	9日	フリー公開7日～18日まで
18日	芋苗植え（柿＆芋同好会さんと）		秋の交通安全教室
6月		17日	ひまわり組クッキング(渡邊水産さんと)
11日	笹巻作り	19日	柿＆芋同好会さんのお茶会
24日	春の交通安全教室	12月	
7月		2日	保育公開日
6日	プール開き	9日	クリスマス会
14日	コスモス苗植え（柿＆芋同好会さんと）	14日	個人面談～25日まで
22日	夏祭り	28日	保育納め
		1月	
		4日	保育始め
		14日	元気モリモリ大作戦～19日まで
26日	こすもす組川遊び	15日	餅つき
31日	第2回PTA評議員会	2月	
9月		2日	豆まきのつどい・貴船神社参拝
1日	つばき組川遊び	13日	みんなのきらきら発表会（3～5歳児）
3日	保育公開日・子育て講演会		
	クラス懇談会		
	元気モリモリ大作戦～8日まで		
8日	ひまわり組川遊び		
9日	こすもす組ぶどう狩り		次年度評議員選出会
14日	つばき組ぶどう狩り	17日	保育公開（0～2歳児）・次年度評議員選出会
23日	ひまわり組ぶどう狩り	18日	国際交流（クッキング）
10月		25日	次年度入園説明会・内科健診
1日	芋ほり・コスモス祭り(柿＆芋同好会さんと)	3月	
	内科健診	1日	環境整備作業～12日まで
8日	ちゅうりっぷ組・さくら組親子遠足	3日	ひな祭り会
17日	親子運動会	4日	第3回評議員会
		10日	お別れ会
		24日	修了式
		30日	年度末希望保育
		31日	年度末希望保育
19日	柿とり（柿＆芋同好会さんと）	毎月	
28日	たんぼぼ組親子遠足	誕生会 発育測定	
29日	歯科健診	弁当日 食育のつどい 避難訓練	
30日	こすもす組親子遠足		

